

令和3年度御殿場市環境マネジメントシステム

取組結果報告書

御殿場市では、平成 21 年度から御殿場市環境マネジメントシステム(EMS)を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

【市直営施設及び指定管理施設】

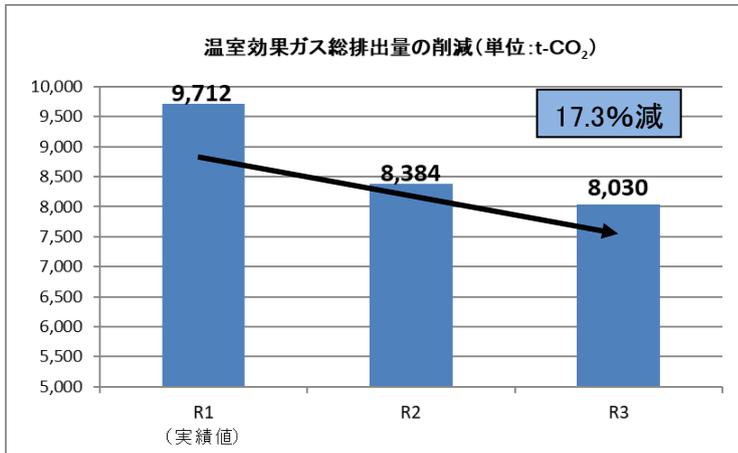
環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目			目標		令和2年度実績値	令和3年度実績値 (R1実績値との比較)	目標達成の有無
			目標値	基準値 (R1実績)			
1 省エネルギー・省資源の推進	(1) 温室効果ガス総排出量の削減	排出量(t-CO2)	令和7年度までに令和元年度実績から86%削減	9,712	8,384	8,030 (△17.3%)	達成
	A 電気及びその他の燃料 (A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油) 使用量の削減	排出量(t-CO2)		9,406	8,103	7,774 (△17.3%)	達成
	B 公用車燃料使用量の削減 (走行距離を含む)	排出量(t-CO2)		306	281	256 (△16.3%)	達成
	(2) 紙使用量の削減	紙使用量(kg)	94,784kg	106,661kg	113,350kg (19.6%)	未達成	
(3) 水使用量の削減	水使用量(m ³)	187,567m ³	令和7年度までに令和元年度実績から5%削減	155,898m ³	163,526m ³ (△12.8%)	達成	
2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減	排出量(kg)	191,896kg	183,199kg	186,490kg (△2.8%)	達成	
3 グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入	適合率75%以上	72.6%	73.1%	76.3%	達成	

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

令和3年度は第5期目標の初年度となります。令和元年度を基準年度とし、令和7年度までに温室効果ガスの排出量を86%削減する目標達成に向け、より一層の取組を行っていきます。

1 省エネルギー・省資源の推進

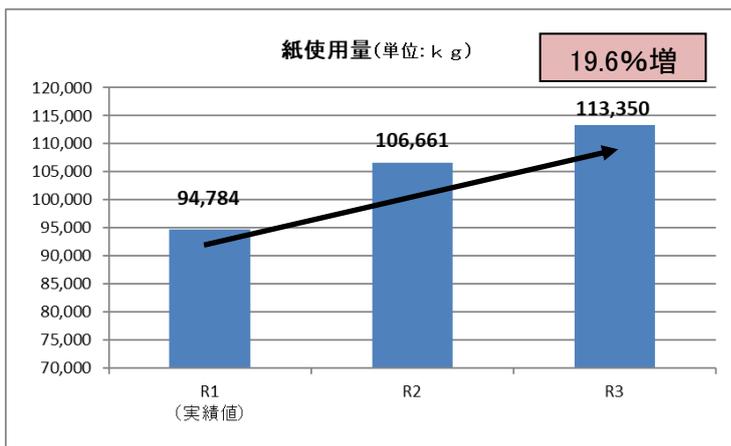
(1) 温室効果ガス総排出量の削減



温室効果ガス総排出量は、前年度に比べ 354t-CO₂(4.2%)の減、基準年度(令和元年度)に比べ 1,682t-CO₂(17.3%)の減となった。

新たに追加された施設等により電気の使用量は幾らか増えているものの、令和2年度末に切り替えたゼロカーボン電力による削減量が前年度実績より大きかったことにより、相対的に減少となった。

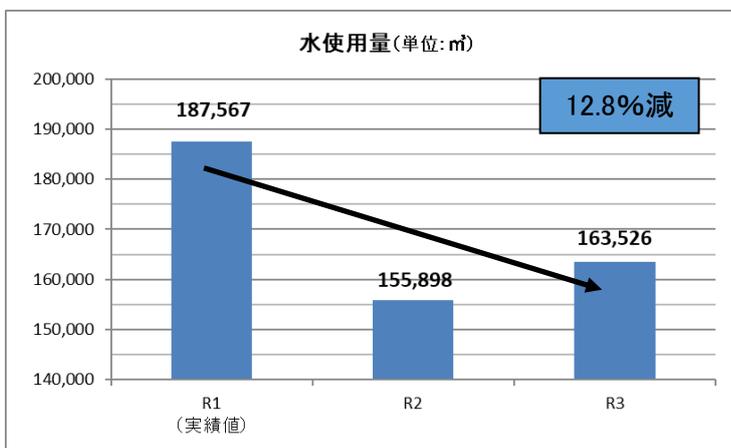
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、前年度に比べ 6,689kg(6.3%)の増、基準年度(令和元年度)に比べ 18,566kg(19.6%)の増となった。

新型コロナワクチンの接種券の発送等による事務などの事務量の増により紙使用量が増加となった。

(3) 水使用量の削減

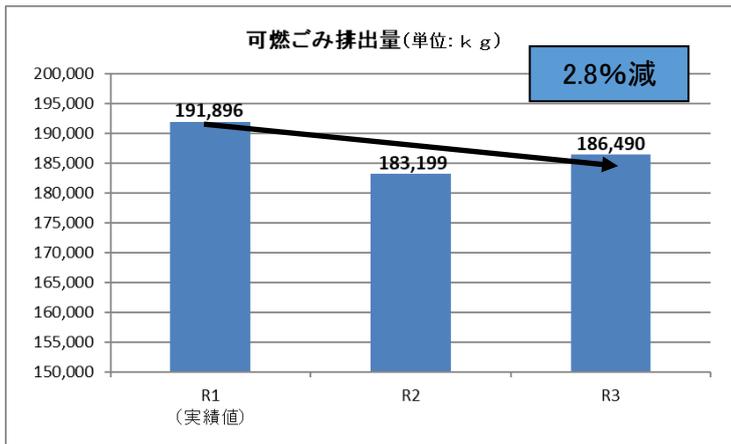


水使用量は、前年度に比べ 7,628 m³(4.9%)の増、基準年度(令和元年度)に比べ 24,041 m³(12.8%)の減となった。

御胎内温泉や玉穂プールの稼働、下水道施設などで使用量が増加した。

2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

可燃ごみ排出量の削減

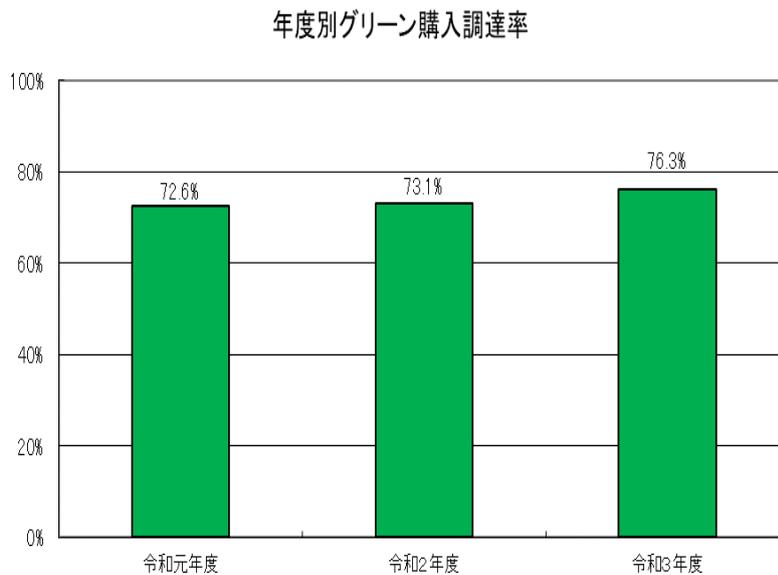


可燃ごみ排出量は、前年度に比べ 3,291kg (1.8%) の増、基準年度 (令和元年度) に比べ 5,406kg (2.8%) の減となった。

指定管理施設の一部再開や、幼稚園・保育園、給食センター等で衛生管理上生ずるごみの排出により増加した。

3 グリーン購入の推進

グリーン購入適合品の調達率



適合品の調達率は、令和3年度に 76.3% となり、目標である 75% を上回った。

今後も継続し、目標を達成できるように努める。